



人がつながる次代を創る

～思いやりのあるまちづくり～

松原市議会議員

自由民主党

ささもと ゆうじ 活動報告 vol.16

活動報告は、公式ホームページ・ブログ・Facebookでもご覧いただけます。

公式ホームページ

ブログ(ゆうじのブログ)

●市政相談は随時

●育児・発達相談も随時(予約要/保育士の妻が対応)

市政に対するご要望、ご相談がございましたらお気軽にご連絡ください。

〒580-0033 大阪府松原市天美南4-10-3

携帯電話: **090-1445-1086** TEL/FAX: 072-283-1414

E-mail: **y.sasamoto@pink.zaqq.jp**

ささもとゆうじ Q検索



Facebookでは「ささもとゆうじ」で検索

Instagram

Instagramも
フォローお願いします



議会報告

詳細については
ホームページをご覧ください

令和6年 第1回定例会 (3月議会)

代表質問 8つの質問事項の内から抜粋しています。

◆ 熱中症対策と避難所機能が向上しています

問 地球温暖化が進んでいることから、令和4年12月議会で学校体育館の空調設置を要望しており、6年度において中学校に設置して頂けるが、期待する効果と今後の小学校の計画はどうお考えか。

答 熱中症対策と避難所機能向上の為、まずは部活動のある市内全中学校に空調を設置し、活動時間を十分確保した上で運動能力や技術の向上を期待し、また災害時には避難者の為に分散して避難できる場所を確保します。今後は小学校も検討していきます。

※令和5年9月議会での市民体育館1階アリーナの空調の設置要望も同時に6年度で実現します。

◆ 市制施行70周年と大阪・関西万博を実りあるものに

問 70周年を機に同時期に開催される万博と絡めて市民に向けて何を発信して、どういう成果を求めるのでしょうか。住民と共に既存の地域行事にも光を当てるべきと考えます。

答 市民の皆様へ感謝の意を表し、まちへの誇りや愛着を深められる記念事業を催す予定です。また約2800万人が来場予定の万博からも本市へ多く誘導し、海外や市内外の多くの人から楽しめるイベントを実施し、関係及び交流人口を増やしたいと願っています。

議会録画は
こちらから▶



ホームページは
こちらから▶



福祉文教委員会協議会

一般質問

◆ クリエイト月ヶ瀬について

令和3年度で休館した当施設について、今後の方針について質問しました。



議会録画は
こちらから▶



ホームページは
こちらから▶



令和6年 第2回定例会 (6月議会)

個人質問

◆ 職員体制の見通しについてどうお考えか?

問 令和元年から開始した係長級への昇任試験の受験率が年々下がる一方、職員全体、とりわけ課長級以上の近年の中途退職者の多さに非常に不安を感じます。今後の職員体制の見通しをどうお考えか。

答 若手職員のキャリア形成につながる研修を実施し、意欲や能力の向上を図り、職員採用については新卒に加え社会人経験者の採用を行っている。デジタル化による事務の効率化を図り、職員の適正配置など労働環境の整備に努めています。

※昇任試験の未受験等の理由が十分に把握されていないので今後調査が必要です。



◆ 自治会の将来の見通しについてどうお考えか?

問 地域の中核となる町会・自治会の弱体化が進んでいる。しかし、行政には欠かせない組織であることに異論を挟む余地はありません。将来をどう見ておられ、市として出来る事・やるべき事は何であるとお考えか。

答 町会・自治会は地域コミュニティの根幹です。住民相互の親睦や交流はもとより、福祉、環境、防犯、防災などの快適で住みよい地域社会を目指し、協働の取組みで大きな役割を担って頂いています。今後もその役割の維持・継続は重要と考え、自治会の様々な活動に支援をしています。市制施行70周年を契機に取組みを進め、更なる未来の松原について考え議論する場を新たに設けて、市民協働による安心・安全なまちづくりを推進してまいりたい。

議会録画は
こちらから▶



ホームページは
こちらから▶



福祉文教委員会協議会

一般質問

◆ 骨髄バンクドナー助成について



骨髄移植が必要とされる患者に骨髄を提供するドナーに対し、給料の補償見合いの助成をする制度を創設することを要望しました。

◆ 市民と行政のパートナーシップのまちづくりについて

令和6年1月に高知市に行政視察した「こうちこどもファンド」を本市でも取り組むことを提案しました。

議会録画は
こちらから▶



ホームページは
こちらから▶



令和6年 第3回定例会 (9月議会)

個人質問

◆ 大阪府には地元協議をしっかりと実施されたい!

問 令和12年度末に完成予定で大阪河内長野線の南伸事業が進んでいます。立ち退きを求められている方々にも思いを寄せ、地元にとって有益な道路整備にしなければならないので府と地元との早期の協議を求めます。また天美南小の敷地が計画用地にかかることでプール全体と運動場の一部が削られるが、老朽化した学校プール全体と市民プールとを一体的に考えていく必要性がありますがどうお考えか。

答 本市にとって当該路線は地域活性化、防災機能の向上、道路ネットワークの強化の観点から非常に重要な役割を担うと考えており、交通環境に変化が生じることから府に対し、地域と調整を行うように申し入れています。また、プールの老朽化については認知していますので今後の計画として検討すべきと考えています。



※令和6年 第3回定例会の個人質問は裏面につづきます▶

令和6年 第3回定例会 (9月議会)

個人質問

◆ 受動喫煙をどう防止するかの慎重な議論を!

問 4年前に改正健康増進法が施行され受動喫煙防止の配慮義務が決められました。それを受け本市では屋外の受動喫煙防止の為に路上喫煙防止条例を今年12月に制定し、来年度から施行しようとしていますが、その制定意義と内容についてお聞かせください。

答 身体や財産への被害の防止を図り、健康で快適な生活環境を確保するほか、喫煙者而非喫煙者が共に快適に暮らせる分煙環境整備を図りたい。河内松原駅と天美駅の周辺を路上喫煙禁止エリアにし、市民に理解を求めていきます。喫煙場所や設置方法についても今後有識者の意見も聴きながら慎重に考えてまいります。



令和6年 第4回定例会 (12月議会)

個人質問

◆ スポーツ関連所管部署の一本化を!

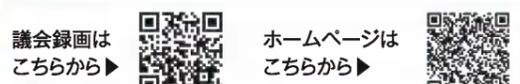
問 中学校部活動の地域移行の受け皿作りが円滑に進んでいない。阪南大学の種目限定協力や数名の外部指導員が一部の学校に関わるのが現状です。中学生が運動に親しめる環境を充実させることは教育上重要と考えます。教職員の働き方改革推進にも影響します。また、10年前に機構改革で現在老朽化が進む施設の所管が分かれ、人口減少において今後の全体ビジョンが描けるのでしょうか。教育も含めたスポーツ行政を着実に推進する為に統一すべきではありませんか。

答 質問の趣旨は十分理解しています。機構的なところは今のところ問題はないと考えていますが、課題に対する共通認識の下、市にある地域資源を活用して更にスピード感を持って取り組みたい。

◆ 5歳児健診で発達特性の早期発見・早期支援を!

問 実施義務である1歳7か月あるいは3歳半での健診で発達上の問題の早期発見に努められています。軽度や知的障害が無いと幼い子の特性は分かり辛い。5歳児頃に特性が明らかになることも多く、その子自身の困り感に対する早期対応で、不登校を減らす研究結果もあり、またいじめ等の早期対応で、2次障がい、3次障がいを減らせます。就学直前の健診では支援が遅れることもあり、是非とも5歳児健診を実施してほしい。

答 現在の法定健診では発達の経過を見守りながら療育機関や専門医療機関に繋げているが、切れ目ない健康診査の一つとして体制を早急に整備し、令和8年度から実施して参りたい。



総務建設委員会協議会

一般質問

◆ 住居手当と給料体系の見直しについて

今や市外に住んでいる職員の割合が半分を超えています。市内に住む職員の割合を増やすには市職員の住居手当を見直し、様々なメリット

を生み出してもらいたい。また、給料体系を見直すことで労働意欲と昇任意欲をかきたて市役所組織の基盤を固めて貰いたいとの観点で提案しました。



常任委員会・会派行政視察

詳細についてはホームページをご覧ください

令和6年1月22日(月)

◆ 高知県南国市「津波タワー(南国市スポーツセンタータワー)」視察

南海トラフ地震の発生確率が高まる中で、2011年の東日本大震災の津波災害がもたらした被害はかなり大きく、それを機に南海トラフ地震の津波被害想定が見直され、これまで大丈夫とされていた高台では人命が助からないであろうとされました。そこで市内に被害想定区域内の住民が避難できる津波タワーを短期間で建設し、いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震に備えました。

2024年元日の能登半島地震で発生した津波災害においては震源地が沖合近くで震源地が浅かったことから到達する時間が数分でした。南国市沿岸部に居住する住民の不安が募る中、予め対応できる公助の現状を調査研究することが目的で現地を訪れました。



令和6年1月22日(月)

◆ 高知県日高村「村まるごとデジタル化事業」

高知県の中央部面積約45km²、人口約4,800人の日高村で、日本初のスマホ普及率100%を目指す取り組みが村政にとってどう影響を及ぼすのか、住民にとってどう有意義な環境を整えることが出来るのかを学ぶことを目的として伺いました。



令和6年1月23日(火)

◆ 高知県高知市「こうちこどもファンド事業」

子ども達の自主的なまちづくり活動を応援し、これからの町を担っていく子ども達の背中を押してあげられる事業を展開されており、また実績も積み重ねてこられている高知市の取組を参考にして、松原市でもまた高知市とは違う形で自主性を育んできた取組を更に充実したものに出来るかを探るために訪れました。



令和6年5月23日(木)

◆ 「きのくに子どもの村学園」視察

映画「夢見る小学校」の舞台である「きのくに子どもの村学園」。ここは「宿題が無い・テストが無い・先生がいない」という子どもが泣いて喜びそうな学校ですが、子どもが選択するプロジェクトを通じて実践的かつ生きた学びの場に身を置き、子ども自身が主体性を持ち、子ども同士で納得のいくまで話し合って物事を進めていきます。そんな学校が果たしてどんなものなのか、子どもの表情にも関心があり自分の目で確かめ心で感じる為に訪れました。



令和6年10月10日(木)

◆ 東日本大震災の震災遺構を巡りました

石巻市「大川小学校」・南三陸町「防災対策庁舎」・陸前高田市「奇跡の一本松」を巡り、震災後13年以上たった今もなお、自然災害が残した大きな爪痕を感じる視察となりました。



令和6年10月11日(金)

◆ 岩手県紫波町「オガールプロジェクト」視察

「オガール」とはフランス語で「駅」を意味する「Gare」(ガール)と紫波の方言で「成長」を意味する「おがる」を合わせた造語です。JR紫波中央駅前の町有地10.7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成21年3月に議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を策定し、その基本計画に基づき、平成21年度から始まった紫波中央駅前都市整備計画事業について学びました。



令和6年11月6日(水)

◆ 北海道石狩市「オンデマンド交通(いつモ)」

昨今、国内では利用者の減や人手不足から公共交通の維持が困難になる中、国の「地域公共交通共創・Maas実証プロジェクト」の補助制度を利用し、令和4年度から実証運行をされている石狩市を視察しました。



令和6年11月7日(木)

◆ 北海道札幌市「札幌ICT活用戦略」

デジタル改革は住民生活に十分に寄与するものであると考えるのと同時に、先端技術の開発・推進には政令指定都市レベルの人的・物的・資金的資源と担当部署の情熱、並びに各市役所部局の積極的な取組みが必要不可欠であることを認識することが出来た視察でした。



地域活動スナップ



田植え、イチゴ狩り、稲刈り、真菰田の巨大迷路、ひまわり、子どもの安全見守り隊、青色防犯パトロール、わんわんパトロール、餅つき、第2回わいわいフェスタ in 堀地域